

水辺のふるさと かつしか 冬号

2025.9

-2025.11

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：ウソ

撮影場所：水元公園

写真提供：むしあお

目 次

1. 55種の動植物調査結果 P 2～5
2. 自由レポート P 6～15
3. 季節の写真集 P 16～19
4. 魚からの便り P 20～23
5. 環境課からのお知らせ P 24～25

担当編集の
ひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の山田と申します。

11月30日に、自然環境レポーター研修会を開催いたしました。

はじめに、郷土と天文の博物館で田んぼや区内の歴史をお話いただき、生物多様性について学びました。そのあと博物館前にある田んぼで、観察会を行いました。

最近気温が低く、生きものがいないのではないかと心配していましたが、レポーターのみなさまがエビやザリガニなどを見つけてくださったので、ほっとしました。

次回の研修会も、みなさまのご参加をお待ちしております。

最近ますます寒くなり、私は毎朝お布団でぬくぬくしたい気持ちとたたかいながら起きています。寒さに負けず、頑張ります！！

みなさまも体調に気を付けてお過ごしください。

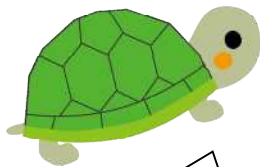
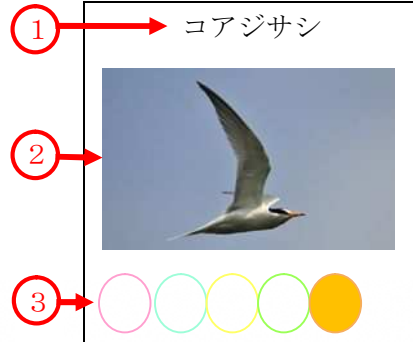
来年もどうぞよろしくお願いいたします。

環境課自然環境係 山田

55種の動植物 調査結果（9～11月）

【次ページの見方】













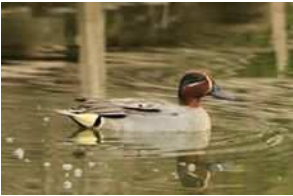







- ① 名前（赤字は外来種）
- ② 写真
- ③ 発見された調査区
（調査区ごとの色で塗り潰し）
































































































































在来種のコアジサシが
調査区5で発見されたと
分かるね！











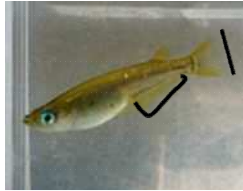






調査区 1 ● 調査区 2 ● 調査区 3 ● 調査区 4 ● 調査区 5 ●

<p>コアジサシ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ウグイス</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>トノサマバッタ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ツバメ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>コサギ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>アキアカネ</p>  <p>○ ● ● ○ ●</p>	<p>クマゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>オオヨシキリ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>カワセミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>オオカマキリ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>アブラゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>
<p>コガモ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>コゲラ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>エンマコオロギ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>ツクツクボウシ</p>  <p>○ ○ ○ ● ●</p>
<p>ツグミ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>シジュウカラ</p>  <p>○ ● ● ● ●</p>	<p>カンタン</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ミンミンゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>

調査区 1  調査区 2  調査区 3  調査区 4  調査区 5 

<p>ニイニイゼミ</p>  <p>    </p>	<p>テングチョウ</p>  <p>    </p>	<p>ナガミヒナゲシ</p>  <p>    </p>	<p>セリ</p>  <p>    </p>
<p>ヤマトタマムシ</p>  <p>    </p>	<p>ツマグロヒョウモン</p>  <p>←雄 雌→</p> <p>    </p>	<p>シロツメクサ</p>  <p>    </p>	<p>オオバコ</p>  <p>    </p>
<p>ナガサキアゲハ</p>  <p>    </p>	<p>アカボシゴマダラ</p>  <p>    </p>	<p>スズメノエンドウ</p>  <p>    </p>	<p>オオキンケイギク</p>  <p>    </p>
<p>クロアゲハ</p>  <p>←表 裏→</p> <p>    </p>	<p>アカメガシワ</p>  <p>    </p>	<p>イモカタバミ</p>  <p>    </p>	<p>カントウヨメナ</p>  <p>    </p>
<p>ナミアゲハ</p>  <p>    </p>	<p>スギナ</p>  <p>ツクシ ↓</p> <p>    </p>	<p>アレチウリ</p>  <p>果実 ↓</p> <p>    </p>	<p>カントウタンポポ</p>  <p>反り返らない→</p> <p>    </p>

調査区 1 ● 調査区 2 ● 調査区 3 ● 調査区 4 ● 調査区 5 ●

<p>ツユクサ</p>  <p>○ ● ○ ○ ○</p>	<p>ミシシippアカミガメ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>コガネグモ</p>  <p>○ ● ○ ○ ○</p>
<p>ジュズダマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ニホンカナヘビ</p>  <p>○ ● ○ ○ ●</p>	<p>ジョロウグモ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>
<p>ススキ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>ニホンアマガエル</p>  <p>○ ○ ○ ● ○</p>	<p>メダカ</p>  <p>←カダヤシメダカの特徴に注意</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>アライグマ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ニホンアカガエル</p>  <p>○ ● ○ ○ ○</p>	<p>ブルーギル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ハクビシン</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ウシガエル</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>ベンケイガニ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2025年11月16日

ストレーナー

最近、工場などの配管の途中にストレーナーというモノがあるのを知りました。

人間の盲腸みたいに流れる配管の脇にちょこっと飛び出している所を作り、そこ網を取り付けておくと、ゴミの多くが、そこにたまり管がつまりにくくなり、そこを時々掃除すれば、他の管全体などの掃除はあまりしなくても良いそうです。

荒川の堀切橋の所が、川のカーブの外側で、それに似ていて、ゴミが良く流れ着いてたまっています。

ゴミがあると放っておくと不法投棄などもされるのですが、草木の種も良く流れ着くので生態系が豊かで珍しい草木も時々見ることができます。

堀切は、荒川放水路ができる前は隅田川のカーブの外側でもあり歴史的にも生態系が豊かであったことが想像できます。

近い小菅刑務所も昔、徳川家の別荘だったようで、生態系が豊かな低地で現在の、水元公園のような安らぎの場所だったことが推測されます。

荒川区の荒川自然公園もそんな感じの地理です。

東京低地の川付近はそんな所が豊富にあり、護岸の話がよく出るのですが、ストレーナーにした方が、綺麗で付近の雰囲気も良くなり価値も上がると思うのですが。徳川家の別荘みたいに。

堀切橋の所では、9月ごろベンケイガニが川の砂地の汚れを一生懸命食べて綺麗にしてくれていました。

川の貝類やゴカイなんかもそういう生き物らしいです。

『曳舟川親水公園 ビオトープ』の紹介

神山隆敬 調査区3

前秋号で『オナガをもとめて…』で、レポートを出しました神山ですが、私、亀有に住んでいて、住まいのすぐそばの『曳舟川親水公園』に、ビオトープを公園課の方で作ってくれたので紹介します。場所としては『曳舟川親水公園』のセブンイレブン亀有4丁目店とローソンとの間、亀有1丁目の『蓮光寺』の前に当たります。



私がビックリしたのは、毎日、水深が管理されており、朝、散歩に行くと、非常に浅くなっていて『オナガ』が水浴びしていましたが、

写真にする事は出来ず秋号には載せられませんでした。

又、シオカラトンボは結構見られて交尾の所を写真に出来ました。



9月6日の写真です。

公園課の方は何処まで、想定して作ったかわかりませんが、『オナガ』好きな私にとっては、日の長い時には朝にここを歩くのが一日の一番の楽しみでもありました。

『秋から冬にかけての、自然観察会』においても、『曳舟川親水公園』の生き物と接する研修もありましたので、『ビオトープ』にも、是非とも観察に来てください。

葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2025年9月～11月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に 5-24、5-26、4-23	町名：東金町
-----------	-----------------------	--------

9月6日（土）水元公園小合溜

午前中の自然環境レポーターの委嘱式及び研修会を終え、夕方水元公園に出掛けた。水元大橋上から小合溜の水面を見ると、水草で完全に覆われている状態だった（写真①）。いったいなんという水草であろうか。外来種だろうか。



写真①

11月2日（日）東金町6丁目 自宅外壁

朝6時44分、自宅外に出たところ、自宅の外壁にイナゴらしき生き物がへばりついていて。ネットで調べたところ、どうやら「ツチイナゴ」のようだ（写真②）。すっかり朝晩は涼しくなってきたことも影響しているのかわからないが、そばに行ってもまるで逃げたり動いたりする様子はなかった。



写真②

11月30日（日）郷土と天文の博物館前曳舟川親水公園

自然環境レポーターの研修会に参加。今回は、郷土と天文の博物館にて学芸員の小峰講師から葛飾区の土地の成り立ち及びその変遷について、丁寧にご説明いただき大変勉強になった。さらに屋外に出て、博物館の目の前にある曳舟川親水公園での生き物探しを行った。セリ（写真③）、タデ（写真④）、写真⑤（採取できた水生生物）、田んぼの様子（写真⑥）、水路で獲物を探すコサギ（写真⑦）。こんな小さなスペースでもたくさんの生き物に出会うことができた。



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦

大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5－28
-------	--------	----------

【2025 年 9 月】

9 月になり、やっと涼しくなってきた観察も楽になってきました。花も増えてきたようです。

ガガイモは水元公園の中央広場とバードサンクチュアリの間に咲いていました。キツネノマゴは中央広場からグリーンプラザの裏あたり、苗園にかけてたくさん咲いていました。

エノキグサは、編み笠をひっくり返したような包のある雌花がたくさんついていて、特徴的です。エノキグサをいったん覚えると、いろいろな所に生えているのに気づきました。クルマバザクロソウは 2 ミリくらいの小さい花です。道端の植え込みに見つけました。このあたりでは少ないようで、その 1 カ所しか見かけませんでした。



9/3 水元公園
ガガイモ



9/3 水元公園
キツネノマゴ



9/8 南水元
エノキグサ



9/20 東金町
クルマバザクロソウ

コミカンソウは実 (3 ミリくらい) の色づくところを観察したいと思っていたのですが、夏の暑さのせい、風のせい、ほとんど実が落ちていました。また、コミカンソウの沢山生えていたところに、ナガエコミカンソウが増えて、コミカンソウは減っているようです。

シロザは最近見ない、と思っていたのですが、道端に 1 本生えていました。アカザは全く見かけません。

ハゼランは 3 ミリくらいの花ですが、暑さのせいかいつもつぼんでいました。涼しい曇りの日に珍しく開いているのを見かけました。

小さい萩かな、と思ったらヤハズソウでした。にいじゅくみらい公園で見かけました。よく踏まれるのか、大きい葉は破けていました。ヤハズソウの名の由来でもある、「矢筈」の形を、実際に葉をちぎって確認してみました。



9/20 南水元
コミカンソウ



9/20 南水元
シロザ



9/27 東金町
ハゼラン



9/28 新宿
ヤハズソウ

昨年、一昨年とたくさんの実をつけていたオオモクゲンジは、やはり暑さのせいでしょうか、今年は実がなっていないようです。夏の終わりに沢山の花を付けていたのに、残念です。

【2025.10、11】

9月に見かけたクルマバザクロソウ、ガガイモ、シロザは刈られてしまい、もうありませんでした。引き続き、これからどうなるか観察したかったのですが、道端の雑草観察の宿命ですね。しかたありません。

ツルボは珍しく、団地のすみに咲いていました。クマツヅラはにいじゅくみらい公園近くの道端と道を隔てて東金町側に咲いていました。

タカサブローは菖蒲園、水生植物園、水辺のさとあたり、と何カ所か咲いていました。



10/8 南水元
ツルボ



10/11 新宿
クマツヅラ



10/11 新宿
クマツヅラ



10/19 水元公園
タカサブロー

ザクロソウは9月に見たクルマバザクロソウと花が似ていますが、葉の形が違います。水元公園の菖蒲園のステージ近くにたくさんありました。これだけ沢山咲いているのに、他の所では見かけないのが不思議です。

シロバナセンダングサはグリーンプラザの近くで見かけました。



10/19 水元公園
ザクロソウ



10/19 水元公園
ザクロソウ



11/4 水元公園
シロバナセンダングサ



11/4 水元公園
シロバナセンダングサ

11月になると、道端も公園も枯れて除草されたりして雑草は少なく、ロゼットや小さい芽が多かったです。また、今年は公孫樹の黄葉が綺麗でしたが、桜やポプラなどは、早くに散ってしまい、紅葉する葉が少なかったです。

以上

<9月>

●観察日：9/23

●調査区：5-26（水元公園）

8月末に来たときから1ヶ月弱で、見られるトンボの種類がかなり変わっていた。

【鳥類】

カルガモ アカゲラ ツミ シジュウカラ など

【昆虫・クモ類】

ツクツクボウシ ニイニイゼミ ヨコヅナサシガメ ホシハラビロヘリカメムシ ヒメジウジナガカメムシ クサギカメムシ
 ハラビロカマキリ卵鞘 ウリハムシ ナミアゲハ イチモンジセセリ ヒカゲチョウ マエアスカシノメイガ モンクロシャチホコ
 クワコ（幼虫） ショウリョウバッタ コバネイナゴ ギンヤンマ アジアイトトンボ オオシオカラトンボ コノシメトンボ
 ナガコガネグモ など

【植物】

ヤブラン など



ギンヤンマの産卵



モンクロシャチホコ

8月末に幼虫を大量に見たが、まだ成虫もいる。



アジアイトトンボ メス



ヒカゲチョウ

<10月>

●観察日：10/24

●調査区：5-28（南水元）

ジョウビタキ初認。今年も例年どおりの時期。家の近くの縄張りは、今年はメス。

<11月>

●観察日：11/30

●調査区：5-26（水元公園）

昨シーズンはとても少なかったツグミが、今シーズンはもう飛来していた。

11月月末だけ暖かい日だったので、活動中や越冬準備の昆虫も少し見られた。

【鳥類】

ユリカモメ オオバン カイツブリ カンムリカイツブリ ハクセキレイ カワウ カルガモ ヒドリガモ キンクロハジロ ヒヨドリ
キジバト コサギ シジュウカラ ウグイス（声） ハシブトガラス ハシボソガラス エナガ コゲラ ダイサギ モズ マガモ
アオジ（声） ツグミ シメ カワラヒワ ウソ ムクドリ

【昆虫】

コバネイナゴ ナミテントウ ホシホウジャク オオカマキリ卵鞘 など



枯草の中あちこちで何かが蠢いており、よく見ると交尾中のコバネイナゴがたくさんいた。（コバネイナゴは卵越冬）



ウソ 食事中。頬～喉の赤が美しい。



カンムリカイツブリ



オオカマキリの卵

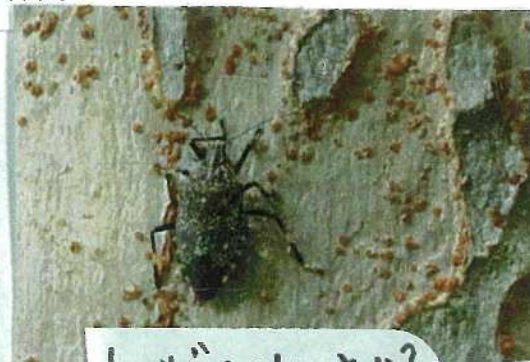
氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)					
鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和7年 9月・10月・11月)				

種類	9月	10月	11月	種類	9月	10月	11月
セイヨウタンポポ	0	5	3	アゲハ蝶	3	1	0
つゆ草	多数	多数	少数	モンシロ蝶	2	2	0
シロツメクサ	多数	5	0	アオサギ	1	0	0
シジミ蝶	10	多数	0	コサギ	1	1	3
クロアゲハ蝶	1	0	0	カモ類	20	30	多数
				ユリカモメ	0	0	不明

(公園内でもセイヨウタンポポの開花が少ない)

昆虫情報

- ① 9月～10月の観察地の木などに見られた昆虫類、種類や名称が判別できず
コガネムシの仲間？ カミキリムシの仲間？



ナガバカミキリ?

キマダラカメムシ

※担当者補記

- ② 11月初旬・自宅の野菜に2種類の昆虫がいた。バッタはときどきみかけたが、今年は初めてだった。イナゴは今まで見たことがなかった、周囲には植木や雑草はあるが、野菜は作っていない、どこから運ばれてきたのか興味がわく。

オンブバッタ

イナゴ



植物情報

- ① 11月中旬、ムラサキツユクサの開花が例年より長かった。東金町3丁目の路地（花がよく見えない写真）



植木鉢の野菜だが、まあまあ食べられた。柿の木に25個ほど実り、甘かった。地方ではクマの好物だから実ったままでは放置できない。10年前、新潟の十日町の山間部に山菜取りに行ったとき、川を挟んでクマの親子にあったが、あっというまに山奥に入っていた。給食の臭いで小学校の運動場にきたなど人里での情報はあったが、事故は聞かなかった。野性動物は人間を見ると、山に戻ると思っていたから、今の事件には???だ。



昆虫の名前は？

キマダラカメムシ（※担当者補記）

野鳥情報

- ② 水元公園の溜池での橋の工事が続いているので、日中はカモ類が見られないので渡り鳥の確認ができない。売店の人に尋ねると、11月には多数きているという。

季節の写真集 (9~11月)



「水元かわせみの里」ならスマホでカワセミを
写真に出来るよ!!」 カワセミ
神山隆敬 11.8 水元かわせみの里



「後ろ姿は白いスズメ」縁起が良いそうです!!」
スズメ 神山隆敬 11.9 亀有4丁目アパート



「このイチョウが散ると毎週祭好きな青年が
『亀有香取神社』を綺麗に掃除しに来る!!」
イチョウ 神山隆敬 11.17 亀有香取神社

季節の写真集 (9~11月)

「狂い咲きツツジ」
ツツジ 鈴木園未 11.3



「寒くて動きが弱いヤマトシジミチョウ」
ヤマトシジミチョウ 鈴木園未 11.3



「まだいた！ オンブバッタ」
オンブバッタ 鈴木園未 11.16



季節の写真集 (9~11月)



「色合わせバッチリ！」
チョウの蛹 瑛ちゃん 9.25 金町



「ヒガンバナ」
瑛ちゃん 9.29 水元公園



「ただいま 水元」
ヒドリガモ 瑛ちゃん 11.26 水元公園

季節の写真集 (9～11月)



「蛹化前」
Ryu 12.6 お花茶屋



「ウソ」
むしあお 11.30 水元公園

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-338

調査回数 調査日 地点					340			備 考
					2025/9/7			
					本流	新八水路	新ハワンド	
1	オ	イ	カ	ワ	9 67-129			
2	カ	ダ	ヤ	シ	1 26	27 11-35		特定外来生物
3	カ	ム	ル	チー	2 169-172			
4	カ	ワ	ア	ナゴ	1 77			初採取
5	ギ	ン	ブ	ナ	1 99			
6	ク	ロ	ダ	イ	1 480			
7	コ	ク	チ	バス	21 75-310			特定外来生物
8	ゴ	ク	ラ	クハゼ	4 54-60			
9	ス		ズ	キ	5 132-212			
10	ス	ミ	ウ	キゴリ		1 45		
11	タイ	リ	ク	バラタナゴ	1 20	2 19-21		
12	デ	メ	モ	ロコ	5 22-84	4 21-26		
13	ド		ジ	ヨウ		9 33-126		
14	ニ		ゴ	イ	14 112-245			
15	ヌ	マ	チ	チブ	79 21-68			
16	ハ			ス	5 87-98			
17	ヒ		ガ	イ	1 95			
18	ブ	ル	ー	ギル	35 15-160			特定外来生物
19	ボ			ラ	17 123-375			
20	マ		ハ	ゼ	60 61-147			
21	メ		ダ	カ	2 24-28	1 25		
22	モ		ツ	ゴ		1 42		
23	ワ		タ	カ	1 263			
	計				20種類265個体	7種類45個体	0種類0個体	

- ・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
 - ・江戸川本流、新八水路あわせて23種類310体の魚類が採集されました。（ワンドは水深なく採集不可）
 - ・晴れ、気温30.6℃、水温 本流31.0℃、新八水路27.3℃、新ハワンド28.7℃（14時半頃測）
- 「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)0.86m (12:00)0.50m (14:00)0.50m

【参加者コメント】

- ・15年以上前に釣り人が釣ってるのを見た事があったカワアナゴ、61種類目の初物を自分で取れていい一日でした。(SS)
- ・本流の水位が下がり、旧航路後が干潟状になったところで、メダカが採れました。普段はワンドのようなところにも、今日みたいな低水位の時に本流に出て、分布を広げるのかもしれませんが。(KI)
- ・本流は水が引いていたため手網がやり易かった。今年一番のヌマチ祭りになるかと思いきや、ブルーギルの稚魚や小さめカムルチーなど普段と違う魚が捕れました。(KY)
- ・台風のあとということで、大漁&増水を期待していたが、水量については少なく、予想が外れました。大漁については予想通りでした。

【今後の調査日】 10月18日(土) 11月2日(日) 12月6日(土)

2026年 1月31日(土) 2月28日(土) 3月20日(金・祝日) 4月5日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-339

調査回数 調査日 地点		341			備 考
		2025/10/18			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	11 82-140			
2	オ オ ク チ バ ス	3 166-198			特定外来生物
3	カ ダ ヤ シ		123 11-37		特定外来生物
4	カ マ ツ カ	2 114-115			
5	コ イ	1 140			
6	コ ク チ バ ス	3 109-168			特定外来生物
7	ゴ ク ラ ク ハ ゼ	7 26-71			
8	タイリクバラタナゴ		14 14-36		
9	デ メ モ ロ コ	2 84-85			
10	ヌ マ チ チ ブ	14 26-65			
11	ボ ラ	5 112-180			
12	マ ハ ゼ	35 86-143			
13	メ ダ カ		12 18-29		
計		10種類83個体	3種類149個体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて13種類232個体の魚類が採集されました。（ワンドは採取ゼロ）
- ・ 晴れ、気温26.9℃、水温 本流21.9℃、新八水路21.1℃、（14時半頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.58m (12:00)1.59m (14:00)1.59m

【参加者コメント】

- ・ 水温が下がり、水が澄んできましたが、その分（？）有機物の分解が遅くなるのか、網に泥状のものが付着するようになってきました。
午前中、風がなく、水面が凪いでいて、ボラの群れが水面に顔を出して泳いでいるのが見えました。
本流に、ホテイアオイが漂着していたので、岸にあげておきましたが、定着注意です。
午後の風で、クルマがぼたぼた落ちて来て、測定中、水槽に直撃し、割れるかと思いました。（KI）
- ・ 2回続けてワンドで魚が採れなかった。水はそこそこあり、原因がわからず。一方で、水路ではカダヤシが前回の5倍も採れた。（SI）

【今後の調査日】 11月2日（日） 12月6日（土）

2026年 1月31日（土） 2月28日（土） 3月20日（金・祝日） 4月5日（日）

HP（<http://shigenori1.jimdoweb.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-340

調査次数 調査日 地点					342			備 考
					2025/11/2			
					本流	新八水路	新ハワンド	
1	オ	イ	カ	ワ	1 131			
2	カ	ダ	ヤ	シ		114 14-35	1 16	特定外来生物
3	カ	マ	ツ	カ	2 101-109			
4	カ	ム	ル	チー	1 517			
5	ゴ	ク	ラ	クハゼ	3 33-54			
6	ス	ゴ	モ	ロコ属雑種	4 42-82			スゴモロコと デメモロコの 雑種
7	ス	ミ	ウ	キゴリ		1 58		
8	タイ	リ	ク	バラタナゴ		1 20		
9	ニ		ゴ	イ	1 132			
10	ヌ	マ	チ	チブ	21 32-75			
11	ハ			ス	2 89-114			
12	ボ			ラ	13 123-226			
13	マ		ハ	ゼ	8 84-132			
13	メ		ダ	カ		11 18-31		
計					10種類56個体	4種類127個体	1種類1個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新ハワンドあわせて14種類184個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り、気温19.5℃、水温 本流16.0℃、新八水路15.9℃、新ハワンド17.2℃（14時頃測定）
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.48m (12:00)1.60m (14:00)1.72m

【参加者コメント】

- ・ いつものメンバー 4名と何回か参加している親子2名の、空前の少人数での調査となった。この人数と水温の低下では、魚が獲れるか心配だったが、結果的にはみんなの頑張りにより14種類の魚も獲れほった。(TI)
- ・ ワンドで、最初の水溜まりに足を踏み入れた瞬間に逃げ出した群れに慌てて入れた網で辛うじて一匹を採取。その後はぜんぜん。すぐ先に泳いでるのが見えるので実際はもっと個体数がいいます。
1~2cmほどのザリガニも散見され、春と間違えたのかと(笑)(KY)
- ・ 外形からデメモロコと同定した4個体が、調査後に拡大写真で同定したらスゴモロコとデメモロコの雑種だった。今後の同定はこれまで以上に慎重にしたい。(SI)

【今後の調査日】 12月6日(土)

2026年 1月31日(土) 2月28日(土) 3月20日(金・祝日) 4月5日(日)

HP (<http://shigenori1.jimdoweb.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

調査次数 年次 回数・日程		1-48		49-106		107-163		164-223		224-235		236-247		248-259		260-271		272-283		284-295		296-307		308-319		320-331		332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		96-00 48回	01-06 58回	06/4-10 57回	2011-15 60回	2016 12回	2017 12回	2018 12回	2019 12回	2020 12回	2021 12回	2022 12回	2023 12回	2024 12回	2025																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
No.	標準地名\地点	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新	本	新																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八	流	八																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1	コノシロイ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														</

●・・・初採取

※:和名がヨシノボリ(橙色型)からクロダハゼに変わりました。

環境課からのお知らせ

★自然環境レポーター研修会を開催しました！★

令和7年11月30日(日)、「ふゆみず田んぼで古来の自然環境を知ろう」をテーマに、郷土と天文の博物館および曳舟川親水公園にて秋から冬にかけての自然観察会を開催しました。

研修会の前半では、郷土と天文の博物館に田んぼを作った経緯や、農業について区内の歴史を交えて説明いただきました。田んぼにも種類があることや、区内ではどのような農業が行われていたのかを学ぶことができました。

後半は、実際に田んぼで自然観察を行いました。小魚やエビ、アメリカザリガニ等を観察することができました。アメリカザリガニはちょうど脱皮途中で、時間を空けてもう一度観察すると、脱皮が終わっていました。普段見られないような姿をみることができました。

寒いなかご参加いただいたみなさま、ありがとうございます。

今後も研修会を開催していく予定ですので、レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、みなさまのご参加をお待ちしております。



◀田んぼを観察する自然環境
レポーターの皆さま

採集した生きものの一部▶



環境課からのお知らせ

★新ハ水路で魚類調査を行います★

自主生物調査団が、新ハ水路にて魚類調査を行います。調査の結果は、「魚からの便り」として水辺のふるさとかつしかに掲載しています。

【日時】 1月31日（土） 2月28日（土） 3月20日（金・祝）

いずれも10時～16時ごろ

【場所】 江戸川河川敷 ※事前連絡をお願いします。

【持ち物】 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス

詳しくは、HP (<https://shigenoril.jimdoweb.com/>) をご覧ください。



★自然環境調査報告書（55種以外）★

自然環境レポーターの活動には、区内で見られる55種以外の動植物についての調査報告も含まれています。ご報告いただいた中からいくつか紹介します。

〈見方〉◆動植物種名・調査月・調査場所（P2参照）・気が付いたことなど

◆ウラナミシジミ・9月・調査区3・複数でひらひらしていた。

◆セスジスズメ（いもむしの時）・10月・調査区5・草むらから草むらへアスファルトを横切っていた。

◆サネカズラ・11月・調査区5・グリーンプラザの近く。実の数も少なく、色もくすんでいた。

◆オナガ・10月・調査区4

今号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

石戸 雅彦	石鍋 壽一	瑛ちゃん	江戸川の小鮒
大谷 悦子	神山 隆敬	下山田 隆	鈴木 園未
高橋 裕子	田村 ひろ子	ひまわり	むしあお
ゆきひめ	K・N	Ryu	T・K

自主生物調査団（編集：一澤成典）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」第 335 号
（葛飾区 自然環境レポーター通信第 287 号）

令和7年 12 月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

代表電話（3695）1111

直通電話（5654）8237

FAX（5698）1538



▲区のホームページにも
掲載しています。

（URL）

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1037174.html>



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。